



頻繁に実行するタスクおよび手順

この章は次のトピックで構成されています。

- [頻繁に実行する手順 \(1 ページ\)](#)
- [その他の手順 \(1 ページ\)](#)

頻繁に実行する手順

この項では、Cisco IMC Supervisorで頻繁に実行する手順をすばやく確認できます。参照先は、詳細な手順が説明されている本マニュアルの各項にリンクしています。

手順	参考資料
ログイン方法 Cisco IMC Supervisor	起動 Cisco IMC Supervisor
ライセンスのアップグレード方法	ライセンスの更新
ログイン ユーザを追加する方法 Cisco IMC Supervisor	ユーザ アカウントの作成
ラック グループの追加方法	ラック グループの追加
ラック アカウントの作成方法	ラック アカウントの追加

その他の手順

以降のセクションでは、Cisco IMC Supervisorを使用して実行するさまざまな手順について説明します。

ダッシュボード ビューの有効化

Cisco IMC Supervisor メニュー バーでダッシュボード ビューを有効にするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 アプリケーションへのログインに使用したユーザ名をクリックします。ユーザ名は、アプリケーションヘッダーの右端に表示されています。
 - ステップ2 [ユーザ情報 (User Information)] ウィンドウで[ダッシュボード (Dashboard)] をクリックします。
 - ステップ3 [ダッシュボードの有効化 (最上位メニュー) (Enable Dashboard (in the top level menu))] チェックボックスをオンにして、ダッシュボードを有効にします。
 - ステップ4 [適用 (Apply)] をクリックして、ウィンドウを閉じます。
- (注) メニューバーに[ダッシュボード (Dashboard)] タブが表示されます。
-

追加ダッシュボードの作成

始める前に

ユーザインターフェイスで[ダッシュボード (Dashboard)] を有効にしている必要があります。

手順

- ステップ1 Cisco IMC Supervisor ユーザ インターフェイスにログインします。
デフォルトの[ダッシュボード (Dashboard)] 画面が表示されます。
 - ステップ2 [+] アイコンをクリックして新しいダッシュボードを作成します。
 - ステップ3 ダッシュボードの名前を入力します。
 - ステップ4 ダッシュボードのレポートを自動更新するには、[自動更新 (Automatic Refresh)] を[オン (ON)] にします。
 - ステップ5 [間隔 (Interval)] を分単位で設定します。ダッシュボードのレポートは、ここで設定した間隔に基づいて更新されます。
 - ステップ6 ダッシュボードウィジェットの[ウィジェット サイズ (Widget Size)] を設定します。
 - ステップ7 [送信 (Submit)] をクリックします。
-

ダッシュボードの自動更新の有効化

ダッシュボードに追加したレポートの自動更新を有効にするには、次の手順を実行します。更新間隔も定義できます。

手順

- ステップ1** メニューバーから [ダッシュボード (Dashboard)] を選択します。
- ステップ2** [ダッシュボード (Dashboard)] パネルで、[自動更新 (Automatic Refresh)] オプションの横にある [オフ (OFF)] をクリックします。
[自動更新 (Automatic Refresh)] オプションが [オン (ON)] に変わり、[間隔 (Interval)] スライダーが表示されます。
- ステップ3** [間隔 (Interval)] を使用して、更新間隔を設定します。
- (注) 更新間隔は 5 分単位で最大 60 分まで設定できます。
-

ダッシュボードへの要約レポートの追加

すぐにアクセスできるように要約レポートをダッシュボードに追加するには、次の手順を実行します。



- (注) ダッシュボードには、要約レポートのみを追加できます。
-

手順

- ステップ1** ダッシュボードに追加する要約レポートを参照します。
- ステップ2** レポートパネルの右上隅にある下矢印をクリックします。
- ステップ3** [ダッシュボードに追加 (Add to Dashboard)] をクリックします。
- (注) 要約レポートがダッシュボードビューに対応している場合にのみ、[ダッシュボードに追加 (Add to Dashboard)] オプションが選択可能になります。
- ステップ4** メニューバーから [ダッシュボード (Dashboard)] を選択し、レポートがダッシュボードに表示されることを確認します。
-

ダッシュボードの削除

デフォルトダッシュボードは削除できません。

手順

- ステップ1** Cisco IMC Supervisor ユーザーインターフェイスにログインします。

デフォルトの [ダッシュボード (Dashboard)] 画面が表示されます。

ステップ 2 作成したダッシュボードのリストを表示するドロップダウンリストをクリックします。

ステップ 3 ダッシュボード名の横に表示される **X** マークをクリックします。

ステップ 4 ダッシュボードを削除することを確認します。

ダッシュボードが削除されたことを確認するメッセージが表示されます。

お気に入りへのメニューまたはタブの追加

[お気に入り (Favorites)] メニューにメニューオプションまたはタブを追加するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [お気に入り (Favorites)] メニューに追加するメニューまたはタブに移動します。

ステップ 2 [お気に入り (Favorites)] をクリックします。

(注) [お気に入り (Favorites)] ボタンは、これに対応しているメニューまたはタブのみに表示されます。

ステップ 3 [お気に入りレポート (Favorite Report)] ダイアログボックスで、[メニュー ラベル (Menu Label)] フィールドを編集できます。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 5 メニューバーで [お気に入り (Favorites)] を選択し、新しいメニューが表示されることを確認します。

お気に入り

Cisco IMC Supervisor では、表形式レポートを表示する画面をお気に入りとしてマークできます。メニューバーで [お気に入り (Favorites)] を選択すると、お気に入りとして指定した画面が一覧表示され、これらの画面にすばやくアクセスできます。

レポート テーブル ビューのカスタマイズ

レポート テーブルのフィールドを追加または削除するには、次の手順を実行します。

始める前に

テーブルのカスタマイズに対応しているウィンドウでは、ページの右端に [テーブル ビューのカスタマイズ (Customize Table View)] アイコンが表示されます。

手順

- ステップ1** ページの右端で [テーブル ビューのカスタマイズ (Customize Table View)] アイコンを見つけてクリックします。
- ステップ2** [レポート テーブルのカスタマイズ (Customize Report Table)] ダイアログボックスでは、次の操作が可能です。
- テーブルレポートのフィールドを表示するには、そのフィールドの横のチェックボックスをオンにします。
 - テーブルレポートからフィールドを削除するには、そのフィールドの横のチェックボックスをオフにします。
 - デフォルトのテーブル ビューにリセットするには、[デフォルトにリセット (Reset to Default)] をクリックします。
- ステップ3** [保存 (Save)] をクリックします。
-

レポートのフィルタリング

ユーザ定義の条件に基づいてデータをフィルタリングするには、次の手順を実行します。

始める前に

データのフィルタリングに対応しているウィンドウでは、ページの右端に [高度な検索フィルタを追加 (Add Advanced Filter)] アイコンが表示されます。

手順

- ステップ1** ページの右端で [高度な検索フィルタを追加 (Add Advanced Filter)] アイコンを見つけてクリックします。
アイコンをクリックするたびに、レポート テーブルの上部にフィルタ条件が追加されます。
- ステップ2** [一致条件 (Match Condition)] ドロップダウンリストで、必要に応じて [すべての条件に一致 (Match All Conditions)] または [いずれかの条件に一致 (Match Any Condition)] を選択します。
- ステップ3** [列内を検索 (Search in Column)] ドロップダウンリストで、データをフィルタリングするためのフィールドを選択します。
- ステップ4** [テキスト (Text)] フィールドに、データをフィルタリングするための値を入力します。
- ステップ5** 複数のフィルタ条件がある場合は、すべての条件に対してステップ3とステップ4を繰り返します。
- ステップ6** [検索] をクリックします。
-

レポートのエクスポート

PDF、CSV、XLS 形式でレポート データをエクスポートするには、次の手順を実行します。

始める前に

レポート データのエクスポートに対応しているウィンドウでは、ページの右端に [レポートのエクスポート (Export Report)] アイコンが表示されます。

手順

ステップ 1 ページの右端で [レポートのエクスポート (Export Report)] アイコンを見つけてクリックします。

ステップ 2 [レポートのエクスポート (Export Report)] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

1. [レポート形式の選択 (Select Report Format)] ドロップダウンリストから、[PDF]、[CSV]、または [XLS] を選択します。
2. [レポート作成 (Generate Report)] をクリックします。
3. レポートが生成されたら、[ダウンロード (Download)] をクリックします。

選択した形式のレポートが新しいウィンドウに生成されます。

ステップ 3 [レポートのエクスポート] ダイアログボックスで [閉じる] をクリックします。

システム情報の表示

[システム情報 (System Information)] 画面には次の情報が表示されます。

- プライマリ ノード
- サービス ノード
- DB ノード
- システム メモリ
- システム ディスク

この画面では、画面に表示されているデータを更新するか、画面に表示されるレポートの数を編集できます。

サイト マップ

[サイト マップ (Site Map)] オプションを使用すると、Cisco IMC Supervisor ユーザ インターフェイスで使用可能な主要なオプションをすべて確認できます。この画面から、オプションを

選択して、関連画面に直接移動できます。たとえば、サイドペインで[システム (Systems)] > [ファームウェア管理 (Firmware Management)] を選択する代わりに、[サイトマップ (Site Map)] 画面の [システム (Systems)] で [ファームウェア管理 (Firmware Management)] を選択できます。

